

今月のことば

迷惑をかけるな
ではなく
迷惑をかけている
と気づかせて
くれるのが
仏さまの教え

(小池秀章)

龍谷大学非常勤講師

小池秀章
こいけひであき

昔、ある人から、「自分の言葉が、中学生になったばかりの息子を、苦しめることになってしまった」という話を、聞いたことがあります。その人は、息子さんに向かって「お前も、もう中学生になったんだから、他人に迷惑をかけるなよ」と、言われたそうです。別に間違ったことは言っていない。けれど、息子さんは、お父さんの言う通り、他人に迷惑をかけないようになろうと、一生懸命になればなるほど、「また、迷惑をかけたしまった」と、自分を追い込んでしまったというのです。

また、あるお笑い芸人が、「他人に迷惑をかけたくない」と言う人に、「存在自体が迷惑だ」と突っ込みを入れていました。きつい言葉のようにも聞こえますが、冷静に考えると、全くその通りです。私たちが生きていること自体、多くの人に迷惑をかけてしまっているのです。

お寺の掲示板に、「『迷惑をかけるな』と教えるのが道徳。『迷惑をかけるな』と教えるのが宗教」と、ありました。「迷惑をかけるな」と言われて、迷惑をかけずに生きることの出来る人がいるでしょうか。

仏教では、「皆が繋がりが合い、支え合って生きている」と、説かれています。別の言い方をすると、「お互いに迷惑をかけ、迷惑をかけられて生きている」ということなのです。そのことを忘れず生きていくことが、大切なのではないのでしょうか。

合掌